クラシック曲へのアプローチで

音楽の扉を開く

~伊予高校・長谷川先生の音楽的な吹奏楽指導~



指導·解説 : 長谷川 公彦 (愛媛県立伊予高等学校 吹奏楽部顧問) 実技協力:愛媛県立伊予高等学校 吹奏楽部 全2巻 16,000円+税(送料別)/各巻 8,000円+税(送料別)





良い練習とは、「良いメニュー×回数」である!!

四国を代表する全国大会常連校・伊予高校。その豊かな音楽性や意欲的な選曲は、多くの指導者からも高く評価されています。 どうすれば生徒たち自身に「問題を解決するための気づきが生まれるか」を考えていきます。全国へ行くことだけが全てでは ない、卒業後も音楽の素晴らしさを忘れないでいてほしい、そんな願いを持って指導をされている長谷川先生ですが、そこには コンクールで活躍し続けているヒントがたくさんあります。悩みながらも続けてきた様々な教育的アプローチの結果がコンクール

基礎的な練習の中には意味があり、その意味を生徒たちが理解していることが大切です。良い練習とは、『良いメニュー×回数』 です。ここでは音の響きをつくり、基礎合奏では歌うことで和音構成の中で音程を作るトレーニングなどを紹介しています。 また、伊予高校の特徴とも言える、クラシックの曲を用いた楽曲合奏での練習、指導についても詳しく紹介。「良い音を聴き、理想 の音を知る」。世界の多くの人に永年愛され再演を繰り返されてきた名曲に出会わせたいという意図に加え、生徒たちのもっと 上手になりたいといった意欲を引き出していきます。

どうしたら本番で練習のように、あるいは練習より面白いものが生まれてくるか。そして、それぞれの生徒たちの持っている ものを引き出せるか。生徒は毎年違います。生徒たちが自分自身の可能性に気づける、音楽への扉を開く、そんな指導を是非 ご覧ください!



M82-1 / 88min

歌と演奏のベクトルを一致させる 基礎練習·基礎合奏

- ■基礎練習
- ♪早朝の雑巾掛けトレーニング ♪ソノリテ ♪ソロ練習
- ■基礎合奏
 - ♪発声練習
 - ♪ソルフェージュ (歌うことで和音構成の中で音程を作るトレーニング)
- ♪スケール・ハーモニー練習と楽曲演奏を統合した練習
- ■音楽鑑賞から学ぶ







■楽曲指導1【ドボルザーク:スラヴ舞曲 4番・8番】 テンポ・ディ・メヌエットで書かれている、ゆったりとした3拍子の曲をアタッカで演奏する。 まだ楽譜を配って合奏を始めたばかりの段階での練習、指導について紹介。

M82-2 / 79min

- ■楽曲指導2【ヘンデル:「私を泣かせてください」伊予高校委嘱作品(田村文生編曲)】 田村文生先生によって編曲された「Lascia Ch'io Pianga 私を泣かせてください(歌劇「リ ナルド」第2幕より)」を使って曲作り、楽曲指導を紹介。豊かなバリエーションを持ち、いろい ろな色や光を見せてくれる作品であり、伊予高校にとって重要なレパートリーになっている。
- ■吹奏楽の指導について <長谷川先生へのインタビュー>

歌う、訴える、訴ふ